

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 5 月 10 日

事業所名 児童デイサービス ほーぷ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	2		活動ごとに部屋分けている。	
	2 職員の配置数は適切である	3	5			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	4		今後、対応を検討していく。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	1	2	定期的なミーティングで行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			ホームページにて公開。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	5		今後、外部評価を検討していく。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			職員交代制で外部研修に参加。	今後、外部研修への参加機会を増やす。社内研修も継続して行う。	
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			適切に作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	4			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	3		ミーティング等を通して、職員全体で共有。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			時期や季節感、毎年固定化しないよう考慮している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1		前月に活動内容を決め、利用時間に合わせて課題を設定している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			各々の課題に合わせて、組み合わせている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2	1	毎朝のミーティングで共有している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3	1	送迎終了後、報告・共有している。	業務連絡ツールを今後も更に上手く活用できるよう、工夫していく。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			毎日、日誌等の記録を行っている。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			設定された期間ごとに定期的に行っている。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8					

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			児童発達管理責任者が参加。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8			学校からの配信メール、電話等で確認。保護者からの情報を共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3	5		該当児童なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	3			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		5	3		該当児童なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	2		今後、研修の機会がある際は参加していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		1	7		コロナ禍で交流の機会はなし。今後、検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		2	6		コロナ禍で交流の機会はなし。今後、検討していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			電話・メール、連絡帳で共有している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	1	1		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			その都度、適切に対応している。必要な場合は、関係先と共有、報告を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	1	6		4月に保護者参加のセミナーを開催。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			すぐに適切に対応している。	今後も、適切に迅速に対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	1	ブログにて発信。	
	35	個人情報に十分注意している	8			鍵付きの保管庫を活用。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	7		コロナ禍で交流の機会はなし。今後、検討していく。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	3			共有、周知の方法を改めて検討していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	1	6		コロナ禍で不足していた為、今後計画通り実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			外部研修への参加、社内研修にて共有している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2		6		該当児童なし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	5		アレルギーがある児童はいるが、指示書はなし。保護者からの情報を今後も確認して対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	4			共有、活用方法を改めて検討していく。